

## 松山移転の経緯

私は大学で歯の噛み合わせが体が関係する事など教わりませんでした。  
また、つい最近まで噛み合わせの事を言うと異端視され攻撃を受ける状態でした。  
私は総入れ歯、歯周病その他、ありとあらゆる講習会に出ました。  
最後にであったのが**市波先生の講習会**でした。  
市波先生は中学を卒業し歯医者に勤めました。  
そのの医院で市波先生自身が歯の治療を受けると肩こりその他が起き  
その事を院長に告げると、院長もよく判らないと言う事で  
耳鼻科の先生が書いたコステン症候群に関する本を手渡されました。

私達歯科医は歯医者を目線で築き上げた歯科医学の元で口腔内のみ診て  
全身を見る視点が有りませんでした。  
市波先生は技工士さんですので独自の視点で模型を観察し  
自分自身の体を使い人体実験をし、今までにない歯科医学を築き上げました。

最近テレビでブレイクしている某有名大学の名誉教授も市波先生の考え方を  
取り入れているのですが、中卒の技工士に習ったとは一言も言っていません。

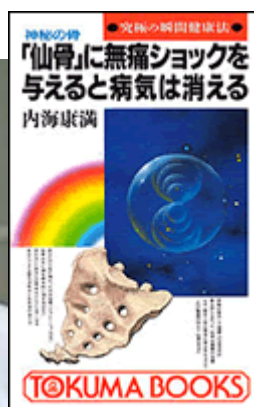
そんな訳で市波先生の講習を受けてもよく判らず講習の帰りに寄った本屋で  
たまたま見つけたのが**MRT療法の内海先生**の本でした。  
私は直ぐに内海先生の講習を受けに行きました。  
内海先生は初めは姫路でオフィスを開いていましたが、その後  
目黒、恵比寿、千葉、松山へと移転されました。  
内海先生は初めは整体のような事をやっていたが、その内、生き方を説くようになり  
道術という合気道の様な事をはじめられました。  
私の次男が熱心で松山にも何度か来て、松山に住みたい様な事を申しおりましたが  
私には患者さんもいるし、もし東京が首都直下型地震で沈むような事があっても  
船の船長のように一緒に沈んでも良いかなと思っていました。  
そんな折、昨年(平成23年)の3月13日に松山でマートの30周年の記念パーティがあり  
12日に飛行機を予約しておりました。そんななかで11日に東関東大震災が起こり  
12日家族皆でリュックを背負い、往復運転でラッシュの様に混む東西線に乗り  
大手町で下り、走ってタクシーに飛び乗り松山に来て、マートの30周年記念パーティでした。

帰りの飛行機の中で、**一瞬のひらめきで松山移転を決めました。**

東京に帰り、20日で診療室を片付け、埼玉の家建物を二束三文で売り松山に来て  
翌日から診療室を探し歩き、今の診療室を見つけ20日で開業しました。  
毎日がジェットコースターに乗ったような日々で立ったまま寝てしまうような状態でした。  
頭で考えたとしても松山に来る事は出来なかったと思うのですが  
それまでも色々と下地的な事は確かにあるにはありましたが  
**神様に「松山に出て行け」と蹴り出される**ような状態で松山に移転しました。

PART 1 ● 歯科医では歯は治らない……………

日本人の歯を悪くしたのは歯医者である／  
歯槽膿漏も歯みがきでは治らない／136  
歯科医療は仙骨で大きく変わる／139



PART 3 ● 歯医者があなただの歯を破壊している

歯の病気を作り出しているのは歯医者だ／123  
歯を抜くと目が悪くなる／124  
歯石をとってはいけない！／126  
歯の矯正は即刻やめるべきだ！／128